

しあわせ実感 かかみがはら

市では、総合計画で定めた「誇り」、「やさしさ」、「活力」の3つをまちづくりの基本理念とし、それらにつながる「9つの基本目標」に沿って、幅広く事業を実施しています。

平成28年度は、「笑顔があふれる元気なまち」しあわせ実感かかみがはら」を目指してスタートした総合計画が2年目を迎え、さまざまな取組を着実に進めてきました。

地域と連携して未来を担う子どもたちを育てる「かかみがはら寺子屋事業2.0」、夢と希望を育み、日本や世界に誇れる博物館を目指す「航空宇宙科学博物館リニューアル事業」、高齢者の介護予防のための「らくらく体操広場事業」など、さまざまな事業を展開しました。



(写真上)博物館収蔵庫を公開し、分解された戦闘機「飛燕」を展示(下)寺子屋事業で、中学生がものづくり企業を見学

市の「ものづくり」に触れてみよう！

10月11日、地域とともに子どもたちを育てる「かかみがはら寺子屋事業」のひとつとして、市のものづくりの現場を訪れる「ものづくり見学事業」が開催されました。

今年度新設した中学生コースには18人が参加し、テクノプラザにある福祉機器や養鶏設備、自動車関連の企業などを見学。県下ナンバーワンを誇る市のものづくりの現場に触れ、子どもたちは技術力の高さに驚きの表情を浮かべていました。



ものづくり見学事業

市民カメラマンフットルポ

10月9日、学びの森などでスポーツの祭典「スポーツげんき祭」が開催されました。

【市民カメラマン：尾崎傑さん】

体育の日にふさわしい秋晴れの1日、学びの森では朝早くからグラウンド・ゴルフ大会が行われ、老若男女が笑顔で楽しんでいました。多彩な軽スポーツのコーナーが設けられていたのは市民公園。小さなお子さんは初挑戦のようでしたが、すぐに慣れて、嬉しそうに歓声を上げていました。



スポーツげんき祭



交流書道展



書を通じて深まる市のつながり

総合防災訓練



みんなで築く安全・安心なまち